

## 1 教科について

## 国 語

## 昨年度の課題

読解力を高めること  
 文章の内容把握、登場人物の心情把握、要旨をとらえる問題の通過率が低い。  
 伝え合う力の育成  
 話の内容を的確に聞き取ることや伝えたい事実や事柄・自分の考えを明確に書くことが充分でない。

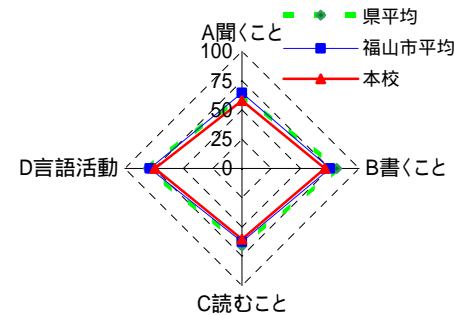
## 昨年度の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

構成や展開をとらえて内容を的確に読み取ること、また登場人物の心情・考え方を把握するようなワークシートや問題に取り組んだ。

授業の中で、聞き取った内容を書き取ったり、自分の考えや感じたことを書くことに取り組んだ。

## 「基礎・基本」定着状況調査通過率

県平均	74.4 %
福山市平均	71.6 %
学校平均	67.8 %



## 重点課題 ( : 「基礎・基本」定着状況調査)

「聞くこと」  
 話の内容を的確に聞き取る力が弱い。

「読むこと」  
 述語に対しての主語を正しくつかむ力が弱い。  
 説明的文章においての構成や展開を捉えきれないことなど、全般的に読解力が弱い。

## 重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

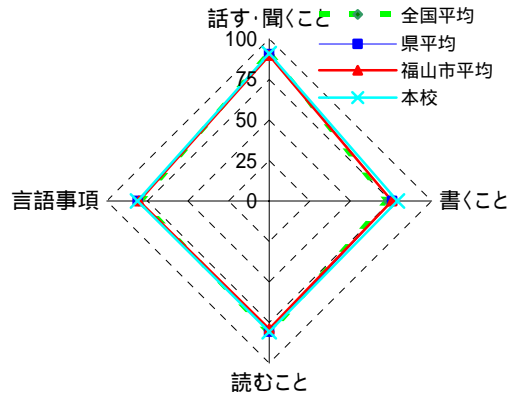
要点を押さえてメモをとり、話の要旨は何かを考えながら聞く指導をし、定期的に聞き取りテストを実施していく。また、自分の考えや感じたことを書く活動の中で、主語や述語なども意識しながら文をつくる取り組みにしていく。

説明的文章の構成や展開をとらえて内容を的確に読み取るために、文章の内容を要約したり、自分の言葉で再構成したりするなどの取り組みを加える。また、文章の構成や展開をとらえるためのワークシートの工夫・改善を行う。

国 語

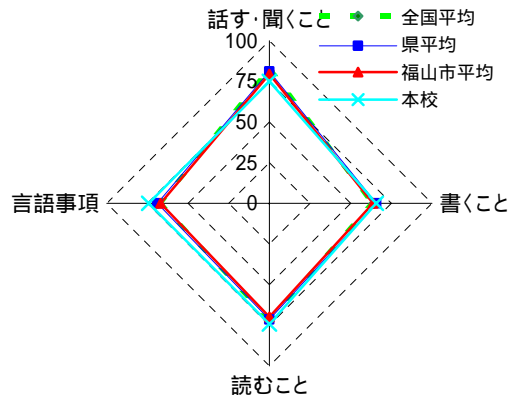
全国学力・学習状況調査正答率（A問題）

全国平均	81.6 %	県平均	82.4 %
福山市平均	81.6 %	学校平均	83.3 %



全国学力・学習状況調査正答率（B問題）

全国平均	71.9 %	県平均	73.3 %
福山市平均	71.9 %	学校平均	74.0 %



全国学力・学習状況調査に関する校内研修の内容

【ねらい】

今求められている生徒につけたい力について理解する。

「活用」型の力をつける授業改善に向けての取り組みを理解し、2学期以降の授業や指導案作成に活かす。

【研修内容】

演習「全国学力調査の問題に挑戦」

- ・国、数のA問題、B問題を全教職員で解く
- ・出題意図、指導要領との関連や解説を理解する
- ・今後の各教科の改善の方向を考える

授業改善レポート研修

重点課題（：全国学力・学習状況調査）

- ・・・言語事項では、漢字の読み書きが十分に定着していない。特に文脈に即して漢字を読むことができていない。
- ・・・読むことの領域では、詩や古典文学への知識が十分ではない。
- ・・・書くことの領域では、資料の要点を適切に読み取り、書いて伝える力がついていない。

重点課題・校内研修に対応した改善する指導内容及び方法

現在、毎日の漢字学習、漢字小テスト、漢字全校テストに取り組んでいる。今後は、国語科の授業をはじめ、すべての教科において、辞書の活用を仕組みながら、文脈に即して漢字を読む力、実生活で活用できる力の育成を図る。

詩や古典文学への苦手意識がある。現在は全校の朝の音読において、詩や古典文学の音読をしたり、暗唱テストを実施したりと取り組みを進めている。今後は更に教材研究を重ね、生徒が親しみを持って音読できる教材を提示し、教科での指導も加えながら読むことの力をつける。資料の要点を適切に読み取り、それを書いて伝えるという活用能力が十分でない。今までは読み取りに重点をおいた指導なっていたが、今回の課題克服のためには更に次へのステップアップした指導が必要である。そのために様々な形で読み取った内容を伝える学習（本の帯作り、POP作り、広告作りなど）を仕組みながら、実生活に活かせる力を伸ばしていく。

数 学

昨年度の課題

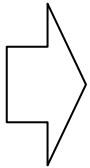
図形領域では、公式の理解が定着していないため、処理できず、通過率が低い。

数量領域では、比例・反比例の理解ができていないため、グラフの活用ができない。

昨年度の課題を受けて具体的に取組んだ事項

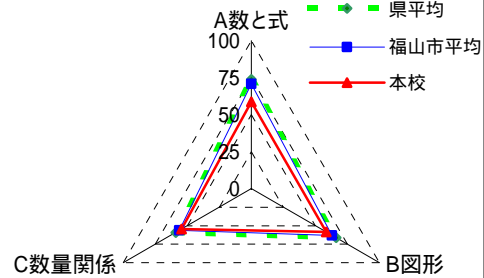
確認プリントで、公式を使った問題や関数の問題に取り組み、既習内容の定着を図った。

確認プリントの問題を元に、到達度テストを行った。また、定期テストにも出題し、学習頻度を高めた。



「基礎・基本」定着状況調査通過率

県平均	69.0	%
福山市平均	65.9	%
学校平均	57.7	%

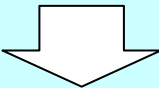


重点課題（：「基礎・基本」定着状況調査）

数量関係をとらえて方程式で表す問題の通過率が低い。数量関係を正しくとらえ、整理していく力が不足している。

おうぎ形の弧の長さを求める問題の通過率が低い。おうぎ形に関する基本的な内容の理解度が低い。

数列に関する問題において、文字を用いて一般化する問題の通過率が極めて低い。変数と定数の区別ができきれていない。



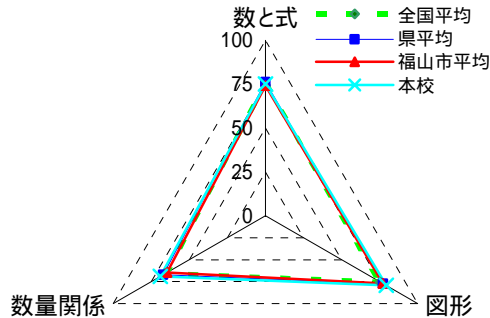
重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

授業始めの確認プリントで公式を使った図形の問題を扱い、公式の定着を図るとともに、繰り返し練習する機会を増やしていく。また、昨年同様の課題が続いていることから、この単元では円形の具体物を実際に等分して、おうぎ形が円の一部であることを意識させる等の指導の工夫が必要である。

先に式を与えてから、式の関係や意味を読み取らせたり、ことばの式や図を使って考えさせ、それを問題解決の手がかりさせる指導を増やしていく。また、自分の考え方を分かりやすく説明させる等の活動を、他の領域でも関連を図って継続的に指導していく。

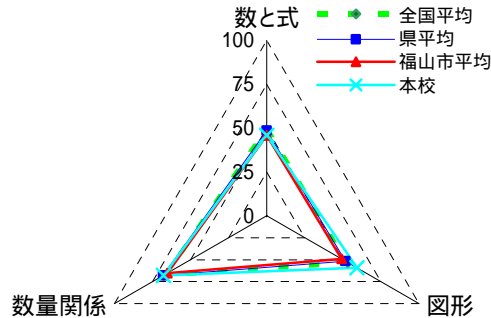
全国学力・学習状況調査正答率（A問題）

全国平均 71.9% 県平均 73.3%  
 福山市平均 71.9% 学校平均 74.4%



全国学力・学習状況調査正答率（B問題）

全国平均 60.6% 県平均 60.6%  
 福山市平均 57.6% 学校平均 60.6%



全国学力・学習状況調査に関する校内研修の内容

【ねらい】

今求められている生徒につけたい力について理解する。

「活用」型の力をつける授業改善に向けての取り組みを理解し、2学期以降の授業や指導案作成に活かす。

【研修内容】

演習「全国学力調査の問題に挑戦」

- ・国、数のA問題、B問題を全教職員で解く
- ・出題意図、指導要領との関連や解説を理解する
- ・今後の各教科の改善の方向を考える

授業改善レポート研修

重点課題（ : 全国学力・学習状況調査）

四則の演算順序や等式の変形などの計算の正確さが不足している。（計算は、全般的に県より低い正答率）

A1(4)  $8 \times (6) \div 2 + 3 \times 9 = 9$  を Y について解く

文字式を具体的な事象の中で読みとること、条件にあった式をつくり説明する力が不足している。

A2(3) 縦 a cm、横 b cm の長方形における  $2(a + b)$  の意味をつかむ問題

B3(3)(4) サッカーの順位の決め方の条件にあった式をつくる。理由を説明する問題

一次関数のグラフであることや一次関数の関係からの値を求める方法を説明する力が不足している。

B5(2) 時間と水温の関係が一次関数であることを説明する問題

(3) 水温から時間を求める方法を説明する問題

重点課題・校内研修に対応した改善する指導内容及び方法

各学年の計算分野を小プリントで繰り返し復習するとともに、単元テストや全校計算テストなどを分析し、問題にフィードバックする中で定着を目指す。

毎時間の「ねらい」「目標」に数値目標をできる限り導入し、1時間1時間の達成目標を明確化し取り組む。（「1分間で方程式5問解く」など）

問題文を読む活動や図や絵をもとに問題把握する力を育成するとともに、授業の中で、自分の考えをノートに書いたり、発表したりする活動の場を増やす。一次関数の利用などの問題でグラフや表をもとに読み取ったことをみんなに伝える学習やグラフを読むポイント、表のポイントをていねいに解説していく。図形や立体の指導で、具体物にさわったり、見せたり、実験したりする活動をさらに取り入れていく。

## 昨年度の課題

書く力が不足している。

「話すこと」では、自分の考えや思いを正しく相手に伝えることができていない。

## 昨年度の課題から取組みの具体

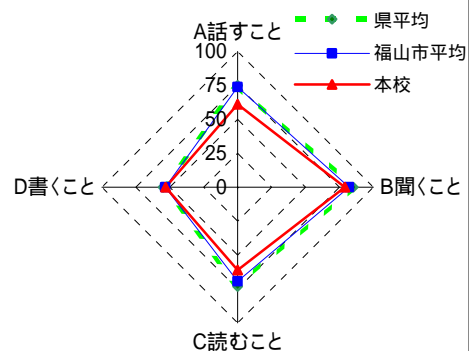
単語や基本文型を毎日ノートを使って復習させた。

また、写真について簡単な英語で説明させる活動を繰り返し行ったり、ALT への手紙を書かせたりした。

全学年で授業はじめに1分間 Q&A をペアでさせ、それをもとにインタビューテストを行った。

## 「基礎・基本」定着状況調査通過率

県平均	73.4 %
福山市平均	70.7 %
学校平均	64.2 %



## 重点課題

否定文において、any を正しく用いることができないなど「書くこと」の通過率が低い。

実技の応答において forty と fourteen の区別ができきれていないなど「話すこと」の通過率が低い。

## 重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

「書く」力を、「話す」「聞く」「読む」技能等と関連づけた指導を通して、高める指導を工夫して行う。そのために、全学年において授業で学習した単語や基本文型を毎日ノートを使って、繰り返し復習させる。また、ディクテーションなどを使って、確認テストを授業始めに行う。

基本的な応答や定型表現を繰り返し学習させるとともに、ALTとのTTを活用し、自分の考えや思いを相手に伝える言語活動を仕組む。

2 意識調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，生徒質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，生徒質問紙）

(1) 生活・学習（「基礎・基本」：学校質問紙P1～2，生徒質問紙P1～3）（全国）：学校質問紙P12～15，P20，P22～23，生徒質問紙P1～16）

改善したい点（「基礎・基本」，「全国」）	今後の具体的な取組みの内容
<p>コミュニケーション能力 「自分と違う意見も受け入れながら、自分の考えをはなす。」生徒は53.4%と平均値より約9%低くコミュニケーション能力が特に低い。</p> <p>論理的思考力 「見たことや考えたことを、人に順序よく伝えている。」生徒は37.6%と平均より約11%低く論理的に考える力が特に低いと考えられる。</p> <p>学習習慣、家庭での学習習慣 学習習慣の3つの内容は、いずれも平均値より低いが特に学習計画をたてている生徒は12%低いときわだっている。また、家庭での学習時間が少ない。 「家で学校の宿題をする」本校50.8%（県60.8% 全国55.6%） 「家で復習をする」本校7.5%（県11.3% 全国12.6%） 「勉強する時間を自分で決めて実行できる」本校8.3%（県12.5% 全国12.4%） 課題など指示されたことは取り組むが、自分で考え計画を立て実行する力がついていないと考えられる。</p>	<p>コミュニケーション能力の向上および自分の考えを論理的にまとめ発表する力をつけるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の発表をきちんと聞き取るために、聞く態度の指導を徹底する。</li> <li>・全員が午後学活などで班反省を理由をつけて発表できるよう指導する。</li> <li>・総合学習の内容のまとめとして、個人やグループで発表する機会をつくる。</li> <li>・道徳学習では、自分の考えを整理して発表させる授業内容を展開する。</li> </ul> <p>基礎学力と学習週間の定着のために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題点検を行い学年での統一した指導により、やりきらせる取り組みをする。</li> <li>・定期テスト前に計画をたて目標をもった学習をさせることで学習時間を増える指導をする。アンテナノートに取り組みさせる。</li> <li>・授業でのドリル学習などで基礎基本の定着を図る。</li> </ul> <p>すぐれた学習計画や実践をいろんな場で取り上げ紹介し、意識づけするとともに、計画づくりの時間の確保をする。また支援方法や点検方法を考え、助言し、より良いものに改善していく。</p>

(2) 教科（「基礎・基本」：学校質問紙P3～10，生徒質問紙P4～6）（全国）：学校質問紙P16～19，生徒質問紙P18～29）

教科	生徒の回答と学校の指導についての課題（「基礎・基本」，「全国」）	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	<p>・・・「国語の授業では、段落ごとに何が書いてあるかを整理しながら文章を読んでいます」 あまりあてはまらない51.5%、あてはまらない13.9%。 文章の構成や展開をとらえるための指導が不十分である。</p> <p>・・・「国語の授業では、友達と話し合ったりして意見を交換する場面が多いですか」 本校30.2%（県40.8% 全国39.5%）と低い</p>	<p>・・・文章の構成や展開をとらえるために、ワークシートの工夫・改善を行い、内容を要約したり、自分の言葉で再構成したりするなどの取り組みを増やす。</p> <p>・・・授業展開の中で一つのテーマに対し、班で討論する場や自分の意見を全体に主張する場を設定していく。</p>
数学	<p>・・・「数学の授業では、理由をあげて自分の考え方や解き方を説明しています」 あまりあてはまらない44.6%、あてはまらない25.7%。 理論立てて説明する指導が不十分である。</p> <p>・・・「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たとき役に立つ」45.8% 「学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えるか」9.2% 教材と実生活とを結びつけての学習指導が不十分である。</p>	<p>・・・自分の考えを発表できる多く設定したり、レポート等を通して理論立てて説明したりする機会を増やす。</p> <p>・・・様々な問題解決の場面で数学を活用する方法をみつけ、その方法を使って実際に説明をしていく活動を増やす。 教材と実生活と関連づけた具体物や教具を工夫する。</p>
英語	<p>・・・「英語の授業では、自分の考えや気持ちを英語で話しています。」 あまりあてはまらない52.5%、あてはまらない22.8% 「話すこと」の活動が機械的な活動にとどまっている。</p>	<p>・・・英語をコミュニケーションの手段として積極的に使用する経験を積み重ねさせる指導を行う。</p>

# 指導改善のための実施スケジュール

	~ 9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
	Plan		Do		Check	検証	Action	Check
【教科】	教科部会(分析計画)					教科部会(検証)	教科部会(計画)	
国語	小テスト 音読	定期テスト 分析 聞き取りテスト	定期テスト	分析 聞き取りテスト 漢字強化週間		聞き取りテスト 漢字強化週間	定期テスト	CRTテスト
数学	計算テスト 5分プリント	計算強化週間 分析	到達度テスト			計算強化週間 分析	定期テスト	
英語	毎日ノート インタビュー テスト	単元テスト 音読テスト 分析	英単語強化週間 単元テスト 分析	単元テスト	英単語強化週間 分析	単元テスト 音読テスト 分析	定期テスト インタビュー テスト	CRTテスト
【生活・学習】	学活 道徳 総合	朝の音読 午後学活の反省 道徳 総合	修学旅行 (体験学習)	まとめ・感想	福祉体験学習	まとめ・発表	証による発表会	
学習	毎日ノート 漢字学習	定期テスト 計画 アンケート	反省・テスト分析				課題発見 セミナー学習	セミナーテスト